

浜で活躍、簡易ドーム 神戸から沿岸に5棟



ツイートする 13



本県沿岸被災地で木造仮設小屋「DIY復興ドーム」が漁業者らに重宝されている。床面積約13平方メートル、高さ約2メートルのドーム状で、作業小屋や仮設店舗にうってつけて、建設も解体も手軽にできるのが特長。神戸市の材木輸入業テツヤ・ジャパン(木村哲哉社長)のボランティア団体が各地で提供を続けている。

提供を受けた山田町長崎の漁業横田徳寿さん(78)は海から約300メートルの知人所有地に建て、漁の作業小屋として使う。19日はドームに白と茶のペンキで色を塗った。

同社のボランティア団体はこれまで釜石市や陸前高田市など県内で5棟を提供。木村社長(35)は「建てるのに6時間、解体は2時間。復興に向けて自由に使ってほしい」と支援に手応えをにじませる。

【写真＝「ありがとう」。満面の笑みを浮かべ、木村哲哉社長(右)と握手を交わす横田徳寿さん＝山田町】

(2011/10/20)

岩手のニュース

- ◆ 民主県連が平野氏批判 県議選総括「結束乱し影響」
- ◆ 被災高齢者認知症防げ 盛岡でシンポ
- ◆ 「国民の納得を得て臨むべき」 TPP交渉参加で知事
- ◆ 「海防精神」永遠に誇り 盛岡で殉職者慰霊祭
- ◆ 山沿い中心に積雪の見込み 気象台が県内情報
- ◆ 被災女性らが手芸作品 盛岡で支援バザー
- ◆ 県内復興道路、未着手14区間を事業化 3次補正計上
- ◆ 女子、本県選抜が頂点 全日本中学生ホッケー
- ◆ 国体市町村負担の削減可能 県、開催判断の材料に
- ◆ 感謝のエアロビ日本一 釜石・大槌チーム

